

こんにちは！戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.23(2023年11月発行)



来年度の予算要望を市長へ提出！

のざわしげまさ
野澤茂雅

やざわはるか
矢沢青河

あそうかずひで
浅生和英

すがわらふみひと
菅原文仁市長

さかいいくろう
酒井郁郎

さとうたかのぶ
佐藤太信

みやうちそうこ
宮内奏子

ウクライナ戦争に続き、イスラエルへのテロ集団による攻撃がおこり、多くの一般人が殺傷されています。核武装を進め、侵略の意思を隠そうともしない国々と海を隔てて向かい合うわが国では、抜本的な防衛力強化が急務となっています。そのような中、「戸田の会」は菅原市長に対し、令和6年度予算への要望を行いました(QRコード)。特に、物価高や災害・武力攻撃への備えの他、老朽化した公共施設の再編、子育て環境や若者支援等、世界の荒波に備えつつも足元の問題にしっかりと取り組んでいきます。



戸田市のICT教育って？

進んでるの？

課題は？



戸田市はICTを活用した先進的な教育で知られています。

これまで総理大臣、文科大臣を始め、内外から多くの要人が視察に訪れました。DXの時代を迎え、教育においてもICTが不可欠となっています。その一方で、生徒一人がタブレット(パソコン)一台の時代の課題も見えてきており、取組が待たれます。

1. ランドセルが重すぎる

小1, 2については、健康を損なわないための制限重量(3~3.5kg程)を大きく上回るケースも。



提言→ 特に小1については持ち帰りをやめる等、持ち帰り制限を徹底

2. タブレット不適切使用

長時間使用、YouTube やゲームの使用が見られます。



提言→ ルールや基準を作り指導するほか、監視アプリを入れ、使用時間の長い生徒等を指導

3. 保護者への説明不足

保護者から「何してるのかわからない」「文字を書くことが減った」「学校によって対応が違う」等の声が多く聞かれます。

提言→ 保護者への説明を増やし、理解が得られるまでコミュニケーションを



→日本のICT教育は始まったばかり。課題を解消し、効果が出るよう応援していきます！



酒井郁郎

代表・無所属・4期
1975年3月4日生
【経歴】東京大学医学部大学院、マッキンゼー(コンサル)、保育・医学教育事業、国会議員政策秘書資格

市民医療センターは、経営難かつ運営困難

戸田市美女木にある市営の有床診療所(病床数19床)は、毎年約3億円の赤字で経営改善は困難です。開所当初と比べて近隣に多くの診療所等ができ外来部門は長期低迷。近年は医師を確保することもままならず、入院病棟を休止しています(11月に再開予定)。先の見えない状況はもう10年以上も続いています。これまで腫れ物に触るような扱いが続いて検討が進まず、建設的な議論が深まりませんでした。

まずは(外来・入院・訪問看護のうち)税金を投入しても確保すべき医療機能が何であるかを定義することが必要。その上で、確保の方法として民間委託も含めて比較検討すべきです。かつて戸田市直営の介護施設「ろうけん戸田」を民間事業者に委任し、毎年約2億円の赤字は解消、客観的な質評価は大きく向上した事例もあります。市は今回「中長期的な医療センターのあり方をしっかり議論する」と答弁しました。早期に、改善に向けた検討を始めるべきであると考えます。



水路を暗渠に!

浅生 国道に面している笹目3丁目の水路は、現在、高い柵に覆われ活用の機会がない。かつてはカエルやザリガニなど小動物を捕まえられるスポットであった。安全のために柵が設置された。その場所の歩道は水路のせいでとても圧迫感を感じる。歩行者同士でも譲り合いが必要なほどであり、自転車だとなおさらである。地元町会からの要望も市政座談会などを通じて市長へ要望している箇所である。水路に蓋掛けして歩行空間として有効活用してはどうかと訴えた。

執行部からは当面、回収予定はないが、暗渠化された場合、有効活用も可能であると一定の理解を得られた上で水路と並行する国道の歩道については、歩行空間の確保を働きかけ、植樹帯の一部撤去が実現した経験から、更に国道の歩行空間として水路敷を活用することができないか、改めて国に対して働きかけるとの回答を得た。



浅生和英

幹事長・無所属・2期
【経歴】大宮高校、法政大学、山一証券、美容室VASE
【所属】社会福祉士精神保健福祉士、防災士、市民生活委員長、議会改革



佐藤太信

無所属・2期
【経歴】中央大学、大正大学院、東京電力、児童福祉施設、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
【資格】臨床心理士

歯の健康維持のためフッ化物洗口の実施を!

佐藤 国は幼い頃による歯の健康が生活習慣病予防につながると示唆している。保育幼稚園や小中学校において蕨戸田歯科医師会が推奨しているフッ化物を用いた「うがい」を提案する。フッ化物を活用した本市の実施状況は。



健康福祉部 乳歯の歯質強化のため検診時にフッ化物歯面塗布を実施。保育園では市内3園に行っている。

物価高騰対策の実施を!

佐藤 物価高騰対策として、戸田市は

- ▶15歳までの給食費を半年減免
 - ▶敬老祝い品の商品券8,000円の増額
 - ▶プレミアム商品券のプレミアム率を20%より30%に引き上げを実施。
- 物価高騰対策を進めるにあたり、以下の2点を要望する。

- ①プレミアム商品券の販売について、スマホに慣れない方へのデジタル支援を
- ②プロパン(LP)ガスを利用する方への料金等の抑制策の実施を(県が今夏実施)



やざわはるか 矢沢青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】茗溪学園、
鹿児島大学、FM放
送局、県議秘書7年
(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第
七分団)、防災士

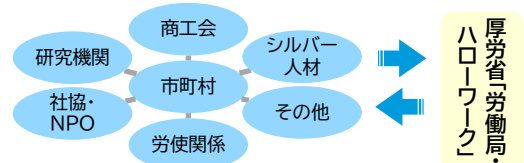
定年後の人生プランは？

矢沢 人生100年時代。定年後30年の過ごし方を考えることは、健康寿命の延伸、増え続ける医療・介護費の抑制、担い手不足の解消等、多くの意義があります。

2025年には全ての団塊の世代が後期高齢者となる超高齢社会が到来、コロナ禍の社会的孤立や自粛による心身の衰えも相まって、シニアの居場所の確保や社会進出の促進は喫緊の課題です。

国はこれに備え、定年の引き上げ、事業者への高齢者の就業確保措置(65歳義務、75歳努力義務)を推進。厚労省の

厚労省 生涯現役地域づくり環境整備



▲協議会を設置し、シニア活躍支援モデルを推進
事業では、人手不足の保育・介護・学習塾とのマッチング成功事例も報告されている。シニアへの積極的な支援の検討を。

健康福祉部 今年度、部局横断体制で「シニア社会参加推進プラン」を策定する。

矢沢 人生プランは、50代頃からの検討が望ましい。事業者と連携し啓発を。

環境経済部 商工会セミナー等で啓発。

小児生活習慣病予防健診

野澤 小学4年生に実施されている「小児生活習慣病予防健診」の目的は。

教育部長 小児生活習慣病予防のため、児童の規則正しい、健康で明るい学校生活を促進することが目的。

野澤 小児の20～30%は成人の生活習慣病の予備群であるため、受診時の生活習慣病を認識改善すると同時に、大人になってから健康な生活を送るための予防対策である。

野澤 健診結果の状況は。



教育部長 令和4年度、要改善の児童の割合は28%。

野澤 専門的見地でフォローアップするためには、医師会との連携や、小4+中1での健診が必要。国の「国民の健康づくりに向けたPHRの推進」事業にも結びつく重要な施策であることも踏まえて次の4点を提案する。①健診前の事前調査としての家庭健康実態調査。②学校医・医師会と連携した専門的見地からのフォローアップ。③小4・中1・高1・20歳頃までの複数回の継続的健診と経過観察。④15年間及び今後も蓄積される健診ビッグデータの有効活用。



のざわけまさ 野澤茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒、システムエンジニア、IT関連会社代表、保育園保護者会後援会会長、小中学校PTA会長、町会副会長



みやうちそうこ 宮内奏子

無所属・1期
【経歴】浦和一女、慶應義塾大学卒、翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務、2児の母
【資格】英検1級、TOEIC970点

学童保育室の入室基準の明確化を！

宮内 民間学童においても、公平性・透明性・納得性を確保するために、民間学童の入室審査における一定の基準を公表することはできないか？

こども青少年部 入室審査基準について一律の基準はないが、市の入室審査基準の考え方をお伝えしており、各民間学童保育室において、保育の必要性や家庭状況を考慮し、入室審査を行っている。



宮内 現場の保護者の声を聞く限りでは、民間学童の独自の基準で審査が行われている要素が強いように感じる。今後は審査の透明性や公平性を考慮することを要望する。また保護者からは、「公立および民間学童にひとつひとつ申請を行うのはワーキングマザーにとって負担である。」との声があり、複数の民間学童の合同説明会を行うことも要望する。また、公立学童の預かり時間が民間学童に比べて短いので、預かり時間の延長も要望する。

道路等の植栽

中古車販売「ビッグモーター」の問題が報道され、店舗沿道の植栽を無許可で撤去するといった違反行為が指摘されました。植栽の目的は、景観の向上や直射日光を遮り路面の温度を下げるなどが挙げられます。その一方で、落ち葉や害虫、視界を遮り交通事故につながるなど、様々なご意見を頂戴しています。



① 運転者の視界が遮られて交通事故につながる



② 歩道のスペースが圧迫されて歩行の妨げとなる



③ 落ち葉が雨どい・側溝の詰まりや住民負担の原因に

④ 害虫やネズミ等の繁殖につながる

⑤ 管理不全の枝葉が景観の悪化に

⑥ 商業活動の妨げに (例:ビッグモーター)

⑦ 維持管理費の負担 etc.

私たち戸田の会は、植栽の必要性は認識しつつも、「安全は全てに優先する」の言葉通り、まず第一に交通安全を確保すべきであると考えます。そして、落ち葉や害虫、歩行の障害等、市民の不利益となる植栽についても改善が必要です。

全国的な取り組みとして、四国交通局では植栽に関する課題や対策をまとめているますが、より通行人の多い戸田市こそガイドラインなどをつくり、実行すべきではないでしょうか？

先進事例 国交省四国地方整備局

- ～道路植栽の課題やあり方の検討と方策～
- 苦情や管理コストの小さい樹種への植え替えや撤去(常緑樹や低木等)
 - 狭い歩道の植栽スペースの間引き・撤去
 - 植栽撤去による視認性の向上 etc.

1. 交通の安全確保

提言→ 交差点や車両出入口、子供の多い場所など、見通しの妨げになる樹木の植え替えや撤去を行う。

2. 移動の妨げを改善

提言→ 歩行者・車椅子・ベビーカー・視覚障害者等、通行を妨げる植栽を改善し、適切な道幅の確保を優先する。

3. 市民等の負担軽減

提言→ 住宅近くは常緑樹や低木など管理の容易な樹種にする、維持管理の頻度を増やす等、負担軽減を図る。

会派アンケート

保護者負担への配慮を!

小中学校の制服や水着

頂いたご意見

- ▶ ネットや量販店で買えるように
- ▶ 安価な制服を採用(例:ユニクロ制服)
- ▶ 猛暑の為、体操着の登校。夏服は廃止してほしい
- ▶ 家庭にある水着等を使用したい
- ▶ 年数回のプールのため3000円の水着を毎年買うのはもったいない
- ▶ 柔道着購入も考えてほしい等

今のままでいい 改善してほしい

制服	1/28	27/28
水着	3/40	37/40

▶ 動きやすく機能的な制服に
▶ 指定品を廃止、

▶ 年数回のプールのため3000円の水着を毎年買うのはもったいない
▶ 柔道着購入も考えてほしい等

→ 予想以上に改善の声が...保護者の負担感軽減に取り組みます。

ご意見募集中!

お気軽にご連絡ください

- ① ホームページ todanokai.com
- ② メールアドレス info@todanokai.com
- ③ 電話・FAX 048-871-6391
- ④ 郵送 〒335 0034 戸田市笹目5-4-15

